

第12回 DAAS運営委員会

□日 時： 2009年12月16日(水) 午後2時～4時

□場 所： 財団法人ベターリビング 1階 BL101会議室
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-14-36 FUJIMI WEST
TEL:03-5211-0568(DAAS事務局)

□議 事：

[承認事項]

○第4期(2009-2010年度)活動計画詳細の件

- | | |
|---------------------|--------|
| 議案1 第4期事業計画 業務方針(案) | <資料 1> |
| 議案2 卒業設計大賞選考について | <資料 2> |

[報告事項]

- | | |
|-------------------|--------|
| ○表彰事業 作業進捗についての報告 | <資料 3> |
|-------------------|--------|

配付資料

- | | | |
|--------|----|-----------------------------------|
| <資料 1> | -1 | 第4期(2009-2010年度)事業計画 業務方針(案) |
| | -2 | 第3期企画部会ビデオ作成 WG 報告及び第4期 WG 参加のお願い |
| | -3 | 特集企画 VIDEO 掲載報告・撮影予定 |
| <資料 2> | | 卒業設計大賞応募者一覧 |
| <資料 3> | | 表彰作品資料収蔵作業報告 |
| <参考資料> | | 第4期(2009-2010年度)事業計画(総会資料) |

第4期(2009-2010年度)事業計画 業務方針(案)

基本方針

- 「UIA2011 TOKYO」にむけた2カ年(第4期及び第5期)で、公に評価された建築・まちなみ・景観に関する資料収蔵をすすめ、計1万点以上の資料を保有するデジタルアーカイブをめざす。
- 利用者の利便性を考えたWeb改修、デザイン改修を進め、閲覧者数を増加させる。

事業計画 業務方針

□ 収蔵事業(コンテンツ整備事業)

➤ 表彰事業

- 2009年からの2カ年度事業として、各年2000点以上のデジタル資料を収蔵する。
- この事業の推進のため、新建築社、エスエス社、写真家協会等に対して、包括的な資料収蔵の提案を行う。また、個人写真家及び他出版社についても資料収蔵の依頼をする。
- 著名な写真家対しては第4期前半にコンタクトを開始。

➤ その他クライテリアに基づいた貴重な資料の収蔵

- 昨年度作成した「住宅団地・まちなみ・景観」等のリストに沿ってデータを収蔵し、DAAS-Webで公開する。
- 今後収蔵すべき資料、または保全すべき資料のリスト化をすすめ、収蔵方針を委員会にて検討し、資料収蔵をすすめる。

➤ オープンアライアンスパートナーが保有している資料のデジタル収蔵

- 金沢工業大学、京都工芸繊維大学とデジタル化についての作業方針(資料保全の優先度、諸元データの統一等)を決定しデジタル収蔵を実施。権利調整を行いDAAS-Webで公開をする。
- その他大学、団体等の各アーカイブの状況のヒアリングを行い、連携を実現させる。

➤ その他(コンテンツ制作)

- 第4期ビデオ作成ワーキンググループを設置。撮影者やインタビュー、企画内容の検討を行い、第4期内に2名の動画を収録。
- 各種企画の実施状況を動画で撮影しウェブに掲載する。
- 資料に関するコラム等の掲載。

□ 広報事業

➤ DAASの広報・実空間展示等の企画立案

- 各団体の全国大会での展示、デモンストレーションに参加し広報活動を行う。
- 新規フライヤーの作成、DAAS-Webでの活動紹介ページの作成。
- 各団体の会誌等への活動紹介の掲載依頼を行う。

➤ デジタル卒業設計大賞の実施

- 第4回デジタル卒業設計大賞を実施。
- 参加者への告知方法及びスポンサーの確保。

□ コンソーシアム運営

➤ 法人化の準備

- 第4期中に一般社団法人格取得の準備を進める。
- その他安定した収入の確保、事務局体制の整備など運営方針を委員会にて検討。

➤ 基本システムの運用

- Webサイト全体の刷新を継続して行う。諸元データの揺れの調整やキーワード機能の追加による「検索のしやすさ」「資料の見やすさ」「管理のしやすさ」の3つを目標とする。
- 会員向けサービスの向上につながるWebサイトの改善。ポートフォリオ機能の追加。
- Webサイトの保守・運営・管理。

＜資料 1＞－ 2
2009 年 12 月 16 日
DAAS事務局

第3期 企画部会ビデオ作成 WG 報告及び、 第4期 WG 参加のお願い

第3期の運営委員会で設置提案を行ったビデオ作成ワーキンググループについては、参加頂いた委員のご協力により、企画・撮影とも順調に進み、目標としていた期内の撮影と、編集に必要な関連資料の用意が予定通り完了いたしました。現在、撮影会社においての編集作業が進んでいます。

同ワーキンググループでは、撮影対象者のパースペクティブの検討とあわせて、設置目的の一つであった「参加して頂く組織のバックグラウンドに基づいた撮影対象者の人選」を達成することができました。

その結果として、組織系事務所の建築家 池田武邦氏、生産システムの研究者であり建築家の内田祥哉氏のインタビューが、新たにオーラルアーカイブとして加えられることとなりました。参加頂いた委員のご協力に厚く御礼申し上げますとともに、ビデオ作成事業推進のため、ビデオ作成ワーキンググループの継続と第4期ワーキンググループへの参加を本委員会でお願ひする次第です。

委員の皆様のご意見とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。











＜目的＞

- 後世に残したいコンテンツ(証言記録)の企画と実施。
- 参加して頂く組織のバックグラウンドに基づいた撮影者の人選と企画提案。
- ビデオパースペクティブの検討。

＜ビデオ作成 WG の活動予定とビデオ完成までのスケジュール＞

2009 年 12 月	運営委員会で当期 WG メンバー、2 から 3 名を選出。
2010 年 1～3 月	WG メンバー及び事務局で撮影対象者、テーマ等の検討。
3 月	運営委員会での企画の審議、承認。
3～8 月	WG メンバーで共同若しくは分担して 2 本のビデオを制作。 (撮影会社は事務局から紹介、もしくは WG メンバーからの推薦も可能。)
9 月	運営委員会にて成果物を紹介。(事務局にて Web 掲載)
(2010 年 10 月	第5期総会での事業報告。会員へ成果物 DVD パッケージ納品)

	掲載ページ	出演(予定)	内容	作成年月日
1	活動紹介 ビデオ	日本建築学会会長 村上周三氏 日本建築士会連合会会長 宮本忠長氏 新建築社取締役社長 吉田信之氏 東京藝術大学名誉教授 奥村昭雄氏 ライト建築アーカイブス日本代表理事 森 晃一氏 日本放送協会マルチメディア局長 上田千秋氏 ライト建築アーカイブス日本副代表理事 南迫哲也氏 建築家 Richard Rogers氏 隈 研吾氏		2005年10月
2	特集企画	榎文彦氏 (DAAS 理事長)	インタビュー 代官山ヒルサイドテラスの空間を語る	2006年12月
3	イベント報告	菊竹清訓氏	4k 映像システム 高精細建築画像のタベ	2007年5月
4	イベント報告	撮影取材	清家清作 「宮城教授の家」	2007年5月
5	イベント報告	デジタル卒業設計大賞 2007	応募作品一覧	2007年9月
6	イベント報告	デジタル卒業設計大賞 2007 隈研吾氏 講評会	受賞者との懇親会風景	2008年3月
7	特集企画	池原義郎氏	作品を語る	2009年10月
8	特集企画	林昌二氏	作品を語る	2009年 月 撮影打合中
9	特集企画	難波和彦氏 : DAAS 理事	作品を語る	2009年10月
10	特集企画	古谷誠章氏 : DAAS 理事	作品を語る	2009年11月
第3期 ビデオ WG の設置と撮影対象者の検討				
11	特集企画	内田祥哉氏	GUP について	2009年10月 (編集集中)
12	特集企画	池田武邦氏	作品を語る	2009年8月 (編集集中)
13	総会挨拶	理事長榎文彦氏		2009年10月
第4期 ビデオ WG の設置と撮影対象者の検討				

No. ID	氏名	URL	所属	1-コンセプト	1-画像	2-コンセプト	2-画像	3-コンセプト	3-画像
1 kbando	坂東幸輔	http://www.autoixic.com/works/010-respect-for-blank-space/	2002年 東京芸術大学美術学部建築学科卒業 2008年 ハーバード大学大学院サイエンススクールを修了	この建築は決まった形態を持たない。空間を使用する人間の数によって常に変化し続けるのである。持ち上げられた地面はその下に発酵室やレクチャーホール、劇場などに使用するための内部空間を作り上げる。この建築は人間のアクティビティによってデザインされる新しい形の建築となる。					
2 masahirokats	香月真大 (まさひろ)	http://masahirokatsuki.blogspot.com/	早稲田大学石山研究室	The library composed only of human feelings based on the Jung psychology mandala and the religious. Human has become a machine by architectural rationalizing and doing architecture that value the economy from the Industrial Revolution. Architecture where human can live really comfortably is not live in the mass-produced mechanical architecture. It is necessary to integrate the machine and the spirit.					
3 hideo0206	阿部秀彦	http://fotologue.jp/hidehiko/#/10372942/108432_hakomachi05		新宿歌舞伎町での新しいバズリック空間の提案。水平方向に伸びるバズリックを垂直方向に折り曲げながら積み重ねていく。					
4 terateky	寺西正貴	http://terateky.web.fc2.com/daas/	京都造形芸術大学建築デザインコース	「こどもたちが楽しく学校、小学校、天体観測の機能を使い、堅い屋根で覆い、アクティビティをつないだ。」		「自然の中の建築、シェルター、SPA、マックスとポストから成り立つ建築。同じボリュームの建物を内二向かう構成と外へ開いた構成の2つの建物で表現。		「老人福祉施設力12つの建物の間に壁の閉く閉じるの操作で空間に多様性を生む。	
5 mayumayu	中井美由子	https://kirara.cyber.kyoto-u.ac.jp/course/kenchiku/curriculum/subject/diploma/diploma2008/dp04/index.html	京都造形芸術大学建築デザインコース	「Elementary School」たさんの丸をずらして重ねる。ずれた部分がテラスやロビーになり、小学校と地域をつなぐゲートとなる。		「SINGLESの住まい」高齢のシンパル世のための集合住宅。個人の居室を最低限に抑え衣食住の機能を外に設ける。		「光と水のSPA」建築を通し、その変化をより感じたい。もあたりまえのようにそばにある光や水、緑といった自然の美しさやハーモニーをより感じられるようなSPAを計画する。	
6 hirom	松下裕美	http://hirom.jp/diploma2008/index.html	京都造形芸術大学建築デザインコース	「かさなりが作り出す風量」起伏のある形状を複製させるためアーチ状の構造を使用。アーチをずらしかさねることで、アーチの重なりがさまざまな風量や空間をつくりだす。		「みちのきおく」地と図の反転から生まれる路＝図の空間を子供の遊び場にする。		「グラデーション」につながる3つのすまい「プライベートからパブリックな場所へ空間のグラデーションを構築する壁で作る。	
7 marie213	二本柳真里江	http://award.daas.jp/2009/marie213	京都造形芸術大学建築デザインコース	「SPA MINAMO」11枚の壁を敷地に等間隔にたて、ランダムにめくりあげ、上部をフェーズさせる。多様な陰影の空間があらわれる。		「河口湖小学校」敷地に11枚の壁を立て、敷地面での抜けと階段の抜けをつくり、二つの異なる抜けが交差し、新たな空間を解放する。			
8 daisakumatsui	松田大作	http://bydaisaikumatsuda.zatunen.com/index.html							
9 16431643	新井良子	http://arai.pt.jp	京都造形芸術大学建築デザインコース	「丘の小学校」病室などの理由により通常の学校に通う事が困難な子どもたちが回復期に通う小学校施設					

2009年12月16日

DAAS事務局

表彰作品資料収蔵作業報告

■作業状況報告 (2009年12月9日時点)

- ・ 依頼状送付件数 34社
- ・ 依頼済作品数 (全1539作品のうち) 699作品
- ・ 1作品当たりの想定資料数 (5枚の場合) $699 \times 5 = 3,495$ 点
- ・ 提供される作品の歩留まり (6割の場合) $3,495 \times 0.6 = 2,097$ 点
- ・ 2009年3月迄に収蔵する資料の目標数 2,000点
- ・ 2009年3月迄に依頼する作品の目標数 800作品

■送付資料の紹介

■作業スケジュール

- ・ 資料提出締切日 2010年1月末日
(受領数予測 12月末日20% 1月中旬10% 1月末日40% 2月以降30%)
- ・ デジタル化作業期間 2009年12月～2010年2月
- ・ 報告書作成期間 2010年3月初旬～3月中旬

今後の作業

■建築写真家への挨拶

- ・ 二川幸夫、村井修、大橋富雄 各氏にDAASの活動趣旨の説明と収蔵作業の協力を得る為訪問